

とよさと

TOYOSATO ASSEMBLY

議会だより

議会改革をめざし 新たな飛躍を

6月定例会

補正予算を可決	2p
委員会報告 新任あいさつ	3p
審議結果	4p
常任委員会の報告	5p
7議員が一般質問	8p
石畑いけばなサークル	16p
豊郷謡曲同好会		

9月定例会は
9月4日(金)
開催予定です

第62号

2015年8月14日

江州音頭発祥の地

一般会計補正予算 33,789千円を可決

【主な事業】

・一般コミュニティ助成事業（4,400千円）・自主防災組織育成事業（1,600千円）
各字のコミュニティ活動の推進に必要な整備に対する補助金。一般コミュニティ事業は上枝・八町で、自主防災組織育成事業は安食西で実施予定。

・臨時福祉給付金（13,200千円）
平成26年度と同様に低所得者を対象として給付金を支給する。申請期間は、8月17日から11月16日を予定。

・四十九院砂山池揚水場改修（4,200千円）



○6月定例会を6月5日から6月19日の会期で開催しました。
○町長から提出された案件は16件（内訳は、専決処分7件、条例6件、補正予算2件、その他1件）でした。
○一般質問は6月9日、7議員が行いました。
○6月定例会最終日（6月19日）条例改正など議案15件を原案どおり可決し、閉会しました。

6月
定例会

6月5日
～
6月19日

一般会計補正予算 33,258千円を可決

・日栄小学校増改築に伴う設計監理委託料（21,638千円）
児童数の増加による教室不足の解消のため、日栄小学校の増改築事業を行う。



○町長から提出された案件は3件でした。

7月
臨時会

7月14日

豊郷町議会構成

平成27年6月5日現在

議長	佐々木 康雄										
副議長	北川 和利										
常任委員会	総務産業建設	◎西澤 清正	○前田 広幸	西山 勝	鈴木 勉市	西村 雄三					
	文教民生	◎今村 恵美子	○北川 和利	高橋 彰	西澤 博一	佐々木 康雄	河合 勇				
	予算決算	◎西山 勝	○鈴木 勉市	高橋 彰	前田 広幸	北川 和利	西澤 博一	西澤 清正			
	議会広報委員会	◎西澤 博一	○鈴木 勉市	前田 広幸	北川 和利	西澤 清正	今村 恵美子				
	議会運営委員会	◎西山 勝	○西澤 博一	北川 和利	西澤 清正	今村 恵美子					
議会選出監査委員	西澤 博一										

※上欄の◎印は委員長、○印は副委員長



広報委員会編集会議



多可町での視察研修

予算決算常任委員会報告

予算決算常任委員長 西山 勝

豊郷町立豊日中学校ランチルーム 給食視察研修を実施 平成27年5月25日(月)

高畑校長・大和教頭より学校教育目標・給食状況等について説明を受けました。中学校での給食が4月13日より開始され、2ヶ月を迎えます。生徒数は1年生80名、2年生65名、3年生78名の計223名、教職員33名を合わせると合計256名分の給食が準備されます。4校時が終わりランチルームに移動すると既に自分の席に給食がセッティングされています。

学校生活のなかで友達や先生と食べる楽しさ、おいしい食事をとる喜び、新たな味覚と出会う驚きなどを体験できる場であり、「生きる力」を育成していく場となり、「食」とおして、日々学校生活の中で気づけなかったことが発見できると感じました。

学校給食の7つの目標

- ①健康な体づくり
- ②望ましい食生活の学習
- ③助け合い、協力しあって楽しい給食

- ④自然の恵みに感謝する心
- ⑤働く人たちに感謝する心
- ⑥地域の食を知り、未来に伝える
- ⑦食を通して社会のしくみを知る

7つの目標を通して、「食べ方を見れば、その人がわかる」と言われるほど、食べ方や食事のマナーは大切です。

「食」は豊かな人間性を育むための重要な要素の1つであり、食を通して得た楽しさ、喜びを契機として学習の向上・学力の向上にできる機会になればと思っています。

視察の結果

- ①各学校には、保湿性に優れた二重食缶で適度な湿度を保った給食を届けるとなっておりますが、「給食が冷めている」のが嫌だとの現場の声を聞くことがあります。毎日約260食の準備は時間がかかり、冷めてしまうことも当然であろうと思いますが、改善策の検討をする必要があると考えます。
- ②希望調査をもとに、ご飯の量を(大盛・並・小盛)で対応されている。
- ③給食献立に基づいて、生徒が前に出て献立の内容を説明する取り組みは、学習力の向上になると感じました。



あいさつ

4月26日の豊郷町議会議員補欠選挙において初当選させていただき、ありがとうございます。

長年町職員として培った経験を生かし、安心して暮らせる豊郷町を目指して、町の発展と福祉の向上に努めてまいりたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

高橋 彰 議員



新任あいさつ (議会事務局長 角田 清武)

本年5月15日付で議会事務局長を拝命いたしました。これまでの行政側の事務者とは違った立場であることを自覚しながら、町民の皆様の暮らしに直結する町議会の運営が円滑に進みますようがんばっていききたいと思います。

事務局書記ともども、よろしくお願ひいたします。

議 決 の 結 果

○=賛成 ×=反対

平成27年6月 豊郷町議会定例会		議 員 名										結果	
		高橋	前田	西山	北川	西澤博	鈴木	西澤き	西村	佐々木	河合		今村
議第33号	専決処分につき承認を求めることについて (豊郷町税条例等の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	☒	○	○		×	×	承認
議第34号	専決処分につき承認を求めることについて (豊郷町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	承認
議第35号	専決処分につき承認を求めることについて (平成26年度豊郷町一般会計補正予算(第7号))	○	○	○	○	○	○	○	○		○	◎	承認
議第36号	専決処分につき承認を求めることについて (平成26年度豊郷町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号))	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	承認
議第37号	専決処分につき承認を求めることについて (平成26年度豊郷町簡易水道事業特別会計補正予算(第4号))	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	承認
議第38号	専決処分につき承認を求めることについて (平成26年度豊郷町下水道事業特別会計補正予算(第5号))	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	承認
議第39号	専決処分につき承認を求めることについて (平成26年度豊郷町介護保険事業特別会計補正予算(第4号))	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	承認
議第40号	平成26年度豊郷町一般会計繰越明許費繰越計算書について	—	—	—	—	—	—	—	—		—	—	報告
議第41号	豊郷町税条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	☒	○	○		×	×	可決
議第42号	豊郷町国民健康保険税条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	☒	○	○		×	×	可決
議第43号	豊郷町国民健康保険条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	可決
議第44号	豊郷町介護保険条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	可決
議第45号	豊郷町職員定数条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	可決
議第46号	豊郷町個人情報保護条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	☒	○	○		×	×	可決
議第47号	平成27年度豊郷町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	可決
議第48号	平成27年度豊郷町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	◎	◎	×	○	○		○	☒	可決
請願第1号	年金の「マクロ経済スライド」発動中止の意見書採択を求める請願	×	×	×	×	×	○	×	×		×	◎	不採択
請願第2号	<国会に提出された「国際平和支援法案」及び「平和安全法制整備法案」は徹底審議の上、廃案にすることを求める意見書を国に提出してほしい旨の請願>	×	×	×	×	×	◎	×	×		○	○	不採択
意見書第1号	「安全保障法制」に関わる意見書(案)	○	○	○	○	○	×	○	×		×	×	可決
意見書第2号	「安全保障法制」に関する意見書(案)	○	×	×	×	×	◎	×	○	×	○	○	否決

平成27年7月 豊郷町議会臨時会		議 員 名										結果	
		高橋	前田	西山	北川	西澤博	鈴木	西澤き	西村	佐々木	河合		今村
議第49号	豊郷町監査委員の選任につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	同意
議第50号	契約の締結につき議決を求めることについて <<豊郷町立小中学校ICT環境整備事業請負契約について>>	○	○	○	○	◎	×	○	○		○	☒	可決
議第51号	平成27年度豊郷町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	棄権	○	○		×	棄権	可決

(○は賛成、◎は賛成討論を行った、×は反対、☒は反対討論を行った。議長は可否同数の場合のみ裁決に加わる)

委 員 会 等 の 出 欠 状 況

日付	会 議	議 員 名										
		高橋	前田	西山	北川	西澤博	鈴木	西澤き	西村	佐々木	河合	今村
5月28日	議会議員全員協議会	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
6月5日	第2回定例会(開会)	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
6月9日	第2回定例会	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
6月10日	総務産業建設常任委員会	—	出	出	—	—	出	出	出	—	—	—
6月11日	文教民生常任委員会	出	—	—	出	出	—	—	—	出	出	出
6月12日	予算決算常任委員会	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
6月19日	第2回定例会(再開)	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
6月19日	総務産業建設常任委員会	—	出	出	—	—	出	出	出	—	—	—
7月14日	議会議員全員協議会	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
7月14日	第2回臨時会	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出

注1 「出」は出席、「欠」は欠席です。

注2 委員会は、所属する委員のみあらわしており、「—」は出席の必要はありません。

常任委員

総務産業建設常任委員会

6月10日

会の

報告

全員賛成で承認しました。

議第33号 専決処分に

つき承認を求めることについて(豊郷町税条例等の一部を改正する条例)の審議では、附則第11条

で3年度ごとの区切りとな

っている理由について、軽自動車税の特例につ

いて安くなるのはなぜか、今回の改正は軽自動車の

税率が上がるという改正なのか、などが質疑され

ました。質疑終了後、反対討論

があり、賛成多数で承認

しました。反対討論(鈴木)

採決結果(可3―否1)

議第34号 専決処分に

つき承認を求めることについて(豊郷町国民健康

保険税条例の一部を改正する条例)の審議では、後

期高齢者支援金・介護納

付金の課税額の上限が引

き上げられるが対象者は

何人か、実質は保険税が

上がるのか、などが質疑

されました。質疑終了後、討論なく、

全員賛成で承認しました。

議第37号 専決処分に

つき承認を求めることについて(平成26年度豊郷

町簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)の審

議では、歳入においては、新規

加入者負担金の増額理由、

今年度の見込みはどうか、

衛生費国庫補助金の減額理由について、

歳出においては、一般管理費で年度末の積立金の額はいくらか、公課費の減額理由についてなどが質疑されました。質疑終了後、討論なく、

議第41号 豊郷町税条例の一部を改正する条例

の審議では、マイナンバー制度の準備のための改正か、などが質疑されました。

質疑終了後、反対討論

があり、賛成多数で可決

しました。反対討論(鈴木)

採決結果(可3―否1)

議第42号 豊郷町国民健康保険税条例の一部を

改正する条例案の審議では、質疑はなく、反対討論

があり、賛成多数で可決

しました。反対討論(鈴木)

採決結果(可3―否1)

議第45号 豊郷町職員定数条例の一部を改正す

る条例案の審議では、改正案で全体として増えた

3名の内訳について、定められた定数は何名か、

などが質疑されました。質疑終了後、討論なく、

全員賛成で可決しました。

採決結果(可3―否1)

議第46号 豊郷町個人情報保護条例の一部を改

正する条例案の審議では、改正の概略について、マ

イナンバー制度と関連して番号の管理はどこが行

うのかなどが質疑されました。

質疑終了後、反対討論

があり、賛成多数で可決

しました。反対討論(鈴木)

採決結果(可1―否3)

文教民生常任委員会

6月11日

議第36号 専決処分に

ついて承認を求めることについて(平成26年度豊

郷町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4

号)の審議では、歳出で一般被保険者療養給付費

について、伸び率が異常に高いが要因は何か、高

額医療費の傾向について、特定健診の委託料減額補

正について、高齢者は増えているのに減額となる

のは何故か、健診受診者が少ない原因は何か、未

請願第1号 年金の「マクロ経済スライド」発

動中止の意見書採択を求め

る請願の審議では、法律で既に決まっているの

かなどが質疑されました。

質疑終了後、賛成討論

があり、賛成少数で不採

択となりました。賛成討論(鈴木)

採決結果(可1―否3)

受診者の追跡調査は行っ

ているのか、受診の項目

が減っているのは何故か、

受診者にアンケート調査

を行ってはどうか、保健

事業費の実績が当初予算

と比較して減っている理

由などについて質疑されました。質疑終了後、討論なく、

全員賛成で承認しました。議第39号 専決処分に

ついて承認を求めること

について(平成26年度豊

郷町介護保険事業特別会計補正予算(第4号)の審議では、歳入では、調整交付金の減額理由について、給付費地域支援事業財源補てん緊急措置繰入金について、繰り入れを行った経過、一般会計からの繰り入れ分は償還対象にならないのではないか、修正議決され下げられた介護保険料は誰が負担することになるのかなどの質疑がされました。

質疑終了後、討論なく、全員賛成で承認しました。

議第43号 豊郷町国民健康保険条例の一部を改正する条例案の審議では、国民健康保険法第72条の4が5に改正される理由、低所得者の法定軽減世帯の保険料にも反映されるのか、などについて質疑されました。

質疑終了後、討論なく、全員賛成で可決しました。

議第44号 豊郷町介護保険条例の一部を改正する条例案の審議では、公費助成分の町負担割合の

1/4は、負担金の割合12.5%に含まれるのかなどが質疑されました。

質疑終了後、討論なく、全員賛成で可決しました。

議第48号 平成27年度豊郷町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)の審議では、歳入では第1号被保険者保険料の普通徴収分と特別徴収分の人数は何人か、介護保健事業費補助金の内容について、その他一般会計繰入金

の理由は、低所得者への保険料の軽減は一般会計から考えていないのか、財政安定化基金貸付金は、一人あたりいくらかの保険料になるのかなど

歳出では、今年度の居宅介護サービス給付費に

予算決算常任委員会

6月12日

議第35号 専決処分

につき承認を求めることについて(平成26年度豊郷町一般会計補正予算(第7号)の審議では、

は訪問・ホームヘルパーのサービスは入っているのかについて質疑されました。

質疑終了後、反対討論・賛成討論があり、賛成多数で可決しました。

議第48号 平成27年度豊郷町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)の審議では、歳入では第1号被保険者保険料の普通徴収分と特別徴収分の人数は何人か、介護保健事業費補助金の内容について、その他一般会計繰入金



の理由は、低所得者への保険料の軽減は一般会計から考えていないのか、財政安定化基金貸付金は、一人あたりいくらかの保険料になるのかなど

歳出では、今年度の居宅介護サービス給付費に

議第35号 専決処分

につき承認を求めることについて(平成26年度豊郷町一般会計補正予算(第7号)の審議では、

段階で減額しなかったのかについて質疑されました。

総務企画課においては、歳入において、利子割交付金の減額理由、配当割交付金・株式等譲渡所得割交付金の増額理由、地域の元気基金繰入金減額の算定根拠について、

歳出では、臨時職員の共済費・賃金の減額理由、防犯灯設置事業費補助金の減額理由と専決処分での減額した理由について、

地域づくり推進事業費の減額理由、選挙費委託料が減額されているがポスター掲示場が減ったのかなどについて質疑されました。

医療保険課では、介護保険の不足がわかった時期はいつかなどが質疑されました。

地域整備課では、屋外広告許可手数料はどういった広告が対象となるのか、などが質疑されました。

人権政策課では、不動産売却収入で売却された

場所と単価について、今

後の売却の取り組みなどについて質疑されました。

教育委員会においては、歳入において中学校給食費について配膳員は何名で何時間勤務か、

歳出では、スポーツ公園施設費は入札残かなどについて質疑されました。

質疑終了後、賛成討論があり、全員賛成で承認しました。

議第47号 平成27年度豊郷町一般会計補正予算(第1号)の審議では、

総務企画課においては、歳入において学校教育施設整備基金繰入金の残金はいくらか、

歳出では、企画費の消耗品は何か、地域づくり推進事業費の概要について質疑されました。

保健福祉課では、臨時福祉給付金の今年度事業の予定について質疑されました。

産業振興課においては、

歳入において経営開始型青年就農給付金事業補助金の予算は26年度補正で



振り替えたが人数は変わらないのか、

歳出では、農地費の円の腰池・竹の尻池の場所はどこかなどが質疑されました。

人権政策課では、三ッ池老人憩の家管理費の修繕内容について質疑されました。

教育委員会では、小学校費の需用費と備品購入費の概要について、学校整備費の財源の振替についてなどが質疑されました。

議会議務局では、備品

の減額理由となぜ早い

購入費の概要について質疑されました。

質疑終了後、討論なく、全員賛成で可決しました。

総務産業建設常任委員会

6月19日

請願第2号 (国会に

提出された「国際平和支援法」及び「平和安全法制整備法案」は徹底審議の上、廃案にすることを求める意見書を国に提出してほしい旨の請願)、

意見書第1号「安全保障法制」に関わる意見書

(案)、
意見書第2号「安全保障法制」に関する意見書

(案) について、関連があるため一括で審議を行いました。

審議では、意見書第1号・2号について、委員より要望事項は同じなので2つを合わせて提出してはどうかという提案がありました。第1号の提案者(西澤博一議員)からは、第2号の内容について納得できていないため修正には応じられない。第2号の提案者(今村謙

員)からは、自分の意見が取り上げられるなら修正にはやぶさかではないという回答がありました。

他の委員から、1号・2号の意見書は目的は同じだが内容が違うものではないかという意見がありました。

質疑終了後、請願第2号は賛成討論があり、賛成少数で不採択となりました。

賛成討論(鈴木)
採決結果(可1-否3)

意見書第1号は、討論なく、可否同数のため委員長裁決で可決しました。

採決結果(可3-否2)

意見書第2号は、賛成討論があり、可否同数のため委員長裁決で否決しました。

賛成討論(鈴木)
採決結果(可2-否3)

「安全保障法制」に関わる意見書

わが国の防衛は、主として自衛隊と日米安保条約に基づく米軍との二つの実力組織によって確保されている。

現在、国会で議論されている「国際平和支援法案」と「平和安全整備法案」は議論が進むにつれ、さまざまな問題点が浮き彫りとなっている。日本は、戦後70年、憲法9条によって、平和で安全な国として今日にあります。また、経済大国として色々な面で国際貢献を果たしてきた国である事は多くの国々から評価をえていると思われる。しかし、今政府が進めている「安全保障法制」の「新3要件」は国民の平和、財産、幸福追求権を満たしているのか考えなければならない。豊郷町は恒久平和宣言の町であり、国民の理解をえられるまで慎重な議論を行うべきである。

よって、次の事項を強く要請します。

- ①「平和安全法制」関連法案は、国民の理解をえられる様に慎重に議論を尽くすべきである。
- ②決して強行採決はさけるべきである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成27年6月19日

内閣総理大臣 殿
衆議院議長 殿
参議院議長 殿

滋賀県犬上郡豊郷町議会



ズバリ! 町政を問う

6月定例会一般質問

- 河合 勇 議員
通学合宿の受付は 9P
- 北川 かずとし 議員
第6期介護保険の運営は 10P
- 鈴木 べんいち 議員
日栄小の教室不足解消を早急に！ 11P
戦後70年、さらなる平和への取り組みを
- 西澤 きよただ 議員
「品確法とその関連法」改正の対応は 12P
- 西村 雄三 議員
地方創生の対応は 13P
定住自立圏の現在の状況は
- 今村 恵美子 議員
高齢者の医療、介護サービスの充実を 14P
- 西澤 博一 議員
情報公開の運用現状は 15P

通学合宿の受付は

募集方法を見直し、今後も事業を実施

質問

豊小・日栄小の5・6年生の児童を対象に参加者募集をしていますが、募集について今までに何ら苦情等はなかったのか。またこの制度はいつ頃から始まり、これからも続けていくのか。

社会教育課長

過去5年間苦情はありません。今年も申込者が殺到し、窓口の対応の不備を保護者の皆さんにはお詫びしたいと思います。職員・関係者の中で協議をし、9月に2回目を開催する予定です。なお、選考は抽選で行いたいと思っています。この事業は共同で生

再質問

活する技能や自立心を高め、親や家族、仲間の大切さに気づく機会の提供を目的として、平成18年7月から始まりました。今後も現状の体制で事業を実施したいと考えています。

今年も確実に私が電話を入

れたので、苦情はあつたはず。申込日の早朝に順番を取りに行った保護者から、前に4、5人しか並んでいなかったのに、自分の前で締め切られたと相談がありました。パンフレットには定員が20名で先着順と書かれています。すぐに担当課に電話

社会教育課長

今年も確実に私が電話を入れたので、苦情はあつたはず。申込日の早朝に順番を取りに行った保護者から、前に4、5人しか並んでいなかったのに、自分の前で締め切られたと相談がありました。パンフレットには定員が20名で先着順と書かれています。すぐに担当課に電話

定員20名に対して、42名の応募がありました。

今後は、期間を設けて投函していただき、後ほど抽選する方法がよいのかと思います。



宿題・自主学习



夕食準備

ズバリ!

町政を問う



北川 かずとし 議員

ズバリ!

町政を問う

第6期介護保険の運営は

第6期、第7期への影響を憂慮

質問

平成27年3月定例会において、今年度からの介護保険料が6,000円から5,200円に修正議決されたが、第6期が始まり、今年度、また今後介護保険事業の運営に影響はないのか、答弁を。

医療保険課長

第6期の保険料については、保険料率は町介護保険事業計画に定める介護給付等対象サービスの見込み量等に基づいて算定した保険給付に要する費用の予想額、県からの借入金償還費用の予定額、地域支援事業及び保健福祉事業に要する費用の予定額、第1号

被保険者の所得の分布状況・見通しや国庫負担の額等に照らし、3年を通じて財政の均衡を保つことができるものと定められており、今年度に入り、さらに高い請求額を示しています。今回、修正により減額された保険料800円の差額で請求額を算定すると、月額で620万円程度の不足になると推計されま

す。第6期の運営及び第7期への影響を大変憂慮しています。

再質問

3年前に第5期の介護保険料4,980円を4,680円に減額修正をしました。その結果、基金の取り崩しが約1,8

00万円、借入が約760万円だったと思いますが、今回の修正でどれだけの影響が出るのか。

医療保険課長

第5期の基金の取り崩し額と県からの借入金を含めると、621万1,000円の影響が出たと考えています。

第6期においての基金の保有状況はゼロで、今年度の影響額は財源不足分の専決補正をした緊急措置借入れ772万1,000円、今回補正分の1,464万8,000円、他で約2,300万程度の影響がでると考えています。

他に次の質問をしました。
・認知症予防対策について
・灌漑揚水場の観光資源としての活用について



第6期介護保険事業計画

日栄小の教室不足解消を早急に！

建設に向け着手したい

質問

日栄小学校の教室が不足する事が明らかになっている。問題解消に向けた取り組みを早急に具体化する事を求める。

る。」との事であったが、(資料、答弁が)なぜ、間違っていたのか。

ところ、判明した。細かく入学者の確認をしてこなかった事をお詫びしたい。

せようとすれば、9月議会で審議しては間に合わない。臨時議会を開いても緊急に対応を行うべきではないか。

町長

臨時(議会)の事も考えている。建設に向かって着手したい。

教育次長

平成28年度から教室が不足する事が判明し、早急に教室が必要となります。教室の増改築に向けて、今、その場所を教育委員会で協議を重ねている。

教育長

昨年の10月末の推計では、30年度からの不足に備え、増築か仮設かをじっくり考えていけばと思っていた。しかし、予想を超える宅地開発が進み転入者も増え、もう一度、住民課で調べた

再々質問

来年の4月に間に合わ

戦後70年、さらなる平和への取り組みを

具体化を計画中

質問

私は、昨年9月議会会で「住民や行政が一体となつて平和な世界を築くための取り組みを具体化しては。」と質問。9月の隣保館フェスティバル、12月の人権週間において、その取り組みが行われ多くの町民

が鑑賞したことに敬意を表したい。今年は戦後70年の節目の年であり、さらなる平和への取り組みを求める。

人権政策課長

ご指摘の通り、今年には戦後70年の節目の年であり、町として

平和の尊さを再認識するとともに、人類の恒久平和を実現するための取り組みが重要視されています。そこで「平和への思い IN 2015」と題して、写真の紹介などの取り組みを計画中です

再質問

この問題は、昨年12月議会での予算決算委員会における私の質疑の中で明らかになった。3月議会に提出された資料でも、議会答弁でも、「平成30年度から不足す



日栄小学校



鈴木 べんいち 議員

ズバリ！

町政を問う



西澤 きよただ 議員

ズバリ!

町政を問う

「品確法」とその関連法」改正の対応は

今後も適切に対応する

質問

インフラ等の品質確保と担

い手確保を目的として、公共工事の基本となる「品確法」を中心に、密接に関係する「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」、「建設業法」が改正されたが、次の点について答弁を求める。

- ①法律の改正を踏まえ、今後の取り組みは。
- ②入札制度において、地元業者の地域への貢献度をどう認識し、反映させているのか。
- ③入札において、人手不足や資材費・労務単価の上昇など、情勢の変化に対応でき

ているのか。

④地元企業の公共工事受注機会の確保の取り組みはどうか。

⑤豊郷町においての「歩切り」の実態は。

⑥ダンピング受注の防止に向けた取り組みは。

副町長

①最新の労務単価や資材

単価を使用し、適切な予定価格を設定しています。また、ダンピングの防止にも努めています。

今後もし引き続き、

公共工事の入札及び契約の適正化を図るための措置に関する指針に沿って取り組んでまいります。

②工事等の業者選定に

は地域貢献や町内業者育成等について総合的な審査を行い、参加基準への考慮を行っています。

③入札に係る工事等の積算は、国、県等の請負工事標準歩掛、設計標準歩掛、積算指針等に基づいて行っており、現場の施工と乖離している状況ではありません。また、積算には専門性を有する場合には、設計業者等への業務委託をしています。入札時には適正に入札価格に反映し、実施しています。

④②でお答えさせていただきました。

⑤本町では歩切りによる予定価格の設定は

行っていません。

⑥入札金額の投函時に、入札業者から積算内訳書をあわせて

投函いただくことでダンピングの受注防止の一環として執行しています。



町民体育館

地方創生の対応は

創生会議で取り組む

質問

3月議会で地方創生についての取組を質問したが、その時補正予算で対応するとの回答であった。その一環として地域振興券を商工会を通じて発行されたのは町民の皆様並びに商工会の皆様に変恩恵を与えられて結構ですが、各々の努力で創生を図り当町の発展に寄与する政策とはちよつと意味が違うと思う。当町で事業をして自立する人、又法人組織を設立して企業の発展を期する人を応援する政策が必要と考えるが、答弁を。

総務企画課長

地方創生は5年間

の総合戦略を策定、故に創生会議を設置する事が義務づけられている。関係機関の方に入って頂き検討なり研

究、議論をして頂いて計画を作る。当メンバーは5年目に事業の評価を行うのが「まち・ひと・しごと」の

創生法の条文に出てきますので、鋭意取り組んでまいります。

定住自立圏の現在の状況は

地域連携による経済圏形成等を促進

質問

湖東定住自立圏を平成22年度から開始し早や5年になるのですが、生活機能の強化に係る政策分野、結びつきやネットワーク強化に係る政策分野、圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野、の3大項目があり1市4町で鋭意

努力して取り組んで頂いていますが、その成果と反省並びに今後の課題はどうか。

除等により実行力のある取組をする為整理して変更議決を頂いたものです。

て進捗すべき、又ゴミ処理の強化の調整事業も検討して頂いていますが、もっと早く実行に移す努力を願いたい。

総務企画課長

26年が5年間の事業計画の最終年度です。取組の進捗状況や課題を整理して26年度12月議会で協定書変更又削

再質問

1市4町でないとできないインフラ整備を項目に入れるべし、道路環境が非常に悪い、当項目を共生ビジョンに入れ



定住自立圏の会議



ズバリ!

町政を問う



今村 恵美子 議員

高齢者の医療、介護サービス充実を

各制度に対する町の見方は違つ

質問

新聞調査による2013年の全国1741市区町村の住民一人当たりの平均所得で、豊郷町は258万3,000円です。全国ランク1049位、滋賀19市町中最下位でした。

この実態から、特に高齢者に対して医療、介護サービスの町支援が必要です。そこで4点、町支援を提案しますが答弁を求めます。

- ① 70歳〜74歳までの医療費窓口負担は1割にする
- ② 町の保健師を増員し、生活保護世帯や貧困高齢世帯の健康指導を拡充する
- ③ 介護保険の利用料に対する町独自助成を

する

- ④ 国保税の引き下げをするため、町一般会計や支援金を活用する

医療保険課長

- ① 一部の低所得者向けの福祉医療制度もあり、全体で窓口1割負担にする町支援は考えていません。
- ② 本年度から保健師1名増員しました。そして県との保健師人事交流で健康づくりを進めます。
- ③ 本町の介護保険事業の健全な運営を進めるため、法に基づく費用負担を65歳以上の方にも負担していただく考えです。
- ④ 国保会計への一般会

再質問

町は、国・県がしなくても子育て支援施策として

“高校卒業までの医療費無料化”を、町一般会計で1,357万7,000円予算化しています。今度は、高齢者が安心して医療や介護が受けられるための町支援を提案しています。町には基金などの財源があり、また、地方自治法や介護保険法からみても町支援は可能です。高齢者が健康で暮らし続けるための提案ですがいかがか。

計からの繰り入れによる国保税の引き下げは考えていません。

町長

見方が変わるといろいろな見方があるんだと思います。それで、制度等に

についても見方が違つたり前だと確信いたしました。以上のとおりです。

区分	乗率	月額保険料	年間保険料	
第1段階	生活保護受給方、老齢福祉年金受給方等及び世帯全員住民税非課税かつ本人年金収入80万円以下の方	0.45	2,340円	28,080円
第2段階	世帯全員住民税非課税かつ本人年金収入等80万円超120万円以下の方	0.75	3,900円	46,800円
第3段階	世帯全員が住民税非課税で、第1、第2段階以外の方	0.75	3,900円	46,800円
第4段階	本人が住民税非課税(世帯に課税者がいる)で、課税年金収入額+合計所得が80万円以下の方	0.90	4,680円	56,160円
第5段階	本人が住民税非課税(世帯に課税者がいる)で、課税年金収入額+合計所得が80万円を超える方	1.00	5,200円	62,400円
第6段階	本人が住民税課税で、合計所得が120万円未満の方	1.20	6,240円	74,880円
第7段階	本人が住民税課税で、合計所得金額が120万円以上190万円未満の方	1.30	6,760円	81,120円
第8段階	本人が住民税課税で、合計所得金額が190万円以上290万円未満の方	1.50	7,800円	93,600円
第9段階	本人が住民税課税で、合計所得金額が290万円以上の方	1.70	8,840円	106,080円

豊郷町第6期介護保険料

情報公開の運用現状は

条例に基づき、適正に運用している

質問

平成16年に豊郷町情報公開条例等の整備がされ、今日に至っています。この制度を利用して情報公開の申請書が利用可能ですが、手続方法ならびにどのような情報が開示できるのか、町のホームページで図示するなど解りやすい説明が必要なのではないか。個人情報保護についても同様にすべきだと考えるが、どうか。情報公開条例、個人情報保護条例の趣旨・運用等についても町長、答弁を。

総務企画課長

情報公開条例の目的は、地方自治に即した町政を推進するため

平成16年に豊郷町情報公開

に、町民の知る権利を尊重し、町の有するその諸活動を町民に説明する責務を全うするため、情報公開の総合的な推進に関し必要な事項を定め、町民との協働による町政の進展に寄与するものです。

個人情報保護条例は、個人の権利、利益の保護を図り、もって基本的人権の擁護及び公平化と適正な町政運営に資することを目的としている条例です。この両条例に基づき、請求があった場合については適正に運用をしています。

再質問

情報公開条例第19条の中で、公文書を検索する

ための資料を作成し一般の利用に供するものとなっている。情報公開の事務要綱の中の5条においては、各事務機関が管理する対象公文書の検索資料を整理し、一般の閲覧に供するということが載っております。

公文書の公開コーナーなどを設置し、開示・閲覧できるようにする必要があります。その点について答弁を求めます。

総務企画課長

毎年公文書の登録・整理と順次行っています。一定それが終了した段階で、公文書リストの公開を研究していきたいと思えます。



彦根市役所の情報公開コーナー

西澤 博一 議員

ズバリ!

町政を問う

石畑いけばなサークル

生け花は、自然という植物を家の中に取り入れるという欲求を、時代に合わせ発展してきた。室町時代に床の間が完成し、その床飾りの一つとして定着してきた。いくつかの流派があり、当サークルは那須先生に小原流を教わっています。花器の種類により、盛花・瓶花（いわゆる投げ入れ）・花奏（はなかなで）（一定空間の中で内側に向けて挿し、交差する立体形に生ける）等々ある。花の上下、前後、遠近等にルールもあり、生えていた時の臨場感を大切に生ける方もある。

当サークルは少人数ですが、それ故個別に丁寧に教えていただいている。教室の後にはマッサージュをしてくれる仲間もいて、しばしリラククスタイムに。時にはコーヒータ임もあり、親睦を深めている。七夕の

頃には、豊郷病院に生花を展示している。患者様や職員の方々の癒しになれば幸いです。新しく入会される方を心待ちにしています。

西山 安子（☎3512392）



豊郷謡曲同好会

私達は、「観世流」の謡曲を、豊会館で6名が月1回の練習を、雨降野では宝来氏宅で5名が週1回の練習をしています。又、豊郷と亀山との交流会を年に1回、4社連合交流会を年に1回して、謡の向上と皆さんとの交流を図っています。

謡には謡十徳があります。謡は十徳のごとく、色々な事を勉強させて頂き、腹から声を出す事で健康にも良く、ボケ防止にもなります。メンバーも高齢となられ、自分も60半ばです。伝統を伝えて行くには、若い人、女性の参加を望んでいます。

謡十徳

- ① 行かずして名所を知る。
- ② 旅にありて知音を知る。
- ③ 習わずして歌道を識る。
- ④ 望まずして高位と交る。
- ⑤ 詠めずして花月を望む。
- ⑥ 老いずして古事を知る。
- ⑦ 友なくして閑居を慰む。
- ⑧ 触れずして佛道を知る。
- ⑨ 恋せずして美人を思う。
- ⑩ 葉なくして鬱気を散ず。

西山 爲佐男（☎3513778）



編集後記

6月17日に選挙権年齢を下げる改正公職選挙法が成立した。

18才、19才の未成年者約240万人が新たな有権者となり全有権者の2%程度にすぎないが、政治に関心を持ってもらう一つの取組みであり将来の国政・県政等の一役を担ってくれる若者たちが現れば良いと思う。18才選挙権をどう生かすか、その点について政治参加の意識を養う教育が必要ではないかと思う。各学校において創意工夫が求められる中、生徒会活動、また自治会活動にも参加をし、交流を深めながら日々の活動が重要ではないかと思う。

年齢を下げたからといって投票率が上がるかは未知であり、どうしたら投票率が上がるかは国民一人ひとりが政治に関心を持つことではないかと思えます。

西澤 博一

広報常任委員会

委員長	西澤 博一
副委員長	鈴木 木べんいち
委員	西澤 澤きよただ
	北川 川かずとし
	前田 田広幸
	今村 村恵美子